

26年度 被災地支援トピックスー1

NO1-1

NPO法人北上川サポート協会さんのミニ門松制作と被災地にお届け支援



26年度被災地支援は25年12月から始まっています。交流のある、一ノ関市川崎のNPO法人北上川サポート協会企画の「門松づくり」で被災地に届ける分を作っていました。



出来上った門松を気仙沼南郷地区のボラ宿と気仙沼訪問でお昼をお世話になっている「スカイピア」と高田一中仮設の集会場へお届けいたしました。

気仙沼の元旦、南郷地区の26年支援事業打ち合わせと懇親会



12月29日は気仙沼街道（284号線）も珍しく雪道で、気仙沼南郷地区もこのように大雪で地元の方も驚いていました。秋田の中村を迎えているようです。

この夜は気仙沼内湾を光の灯で包み込んでいました。震災後光を失った気仙沼に暖かい光を灯したいと「ONE-LINE」気仙沼クリスマスイルミネーションプロジェクトが立ち上げた光がとても快くホットしました。パドラーズの気仙沼支部長の武田雄高さんも副実行委員長として参加しています。



26年度被災地支援トピックスー1

気仙沼の元旦、南郷地区の26年支援事業打ち合わせと懇親会ー2

NO1-2



26年度、太平洋からの初日の出。思わずこうべが下がり、手を合わせてしまいました。今年こそ復興の歩みが早まることを祈りました。また大川堤防の桜は切られ、かさ上げ工事が進んでいます。階上のお寺で心からお祈りしてきました。



正月早々全国からボランティアが集合!!!活動前夜「お国自慢」の演奏やら踊りなどで盛り上がりました。同じ気持ちの人たちだからみんな心ひとつになり、自分でできる支援を考え、行動を起こしています。



3日の日には、町内の門付の踊りの前にボラ宿で、阿波の浄瑠璃人形踊りや沖縄のエイサン踊りを岩手の方が披露して、気合を入れて踊って見せてくれました。ここに集まった方々は、気仙沼で仮設住宅を回っているいろいろなイベントや医療関係のボランティアをしている村上亮さんの関係の方々其自然と集まってきているのです。